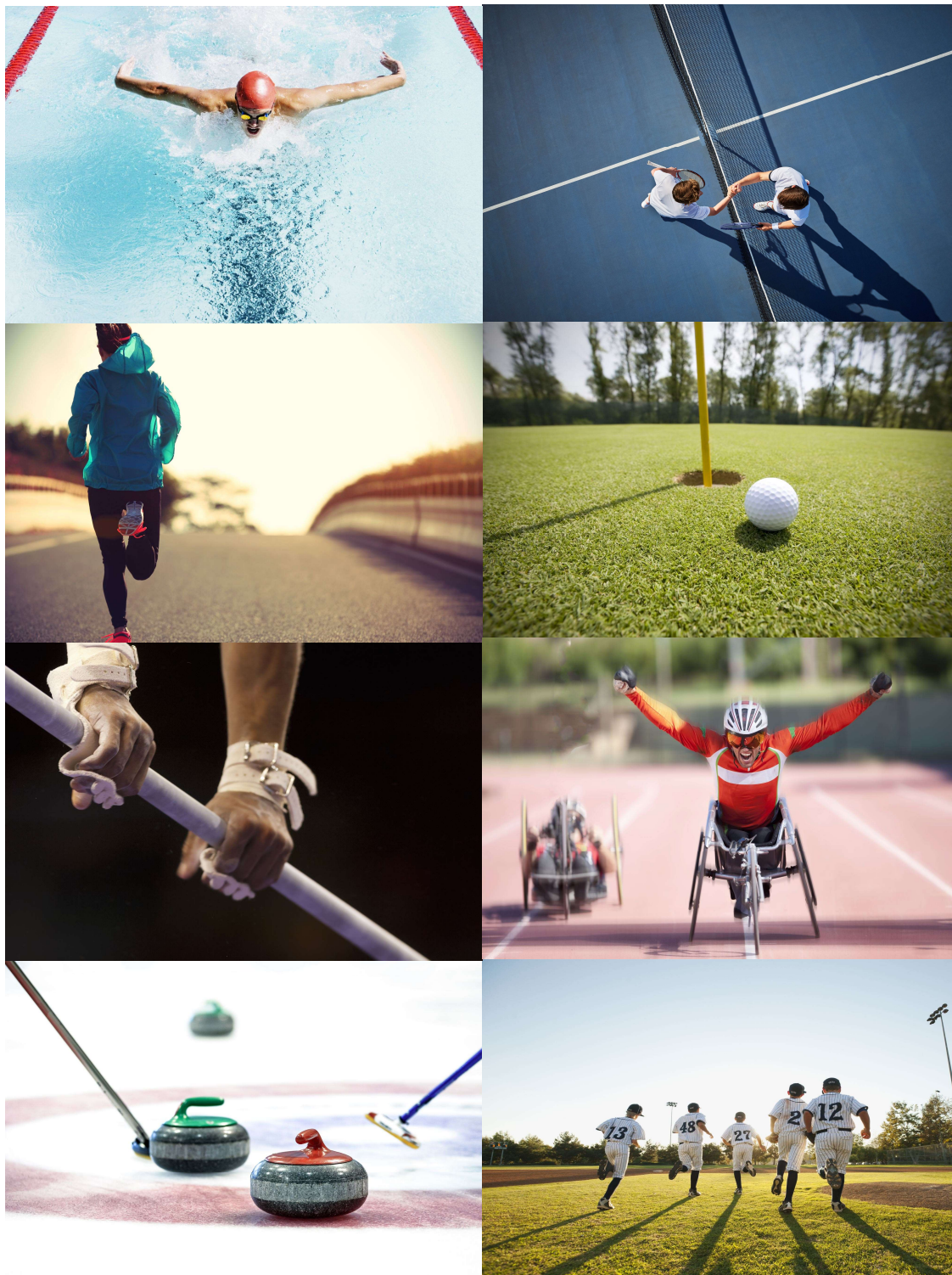




第3期 スポーツ基本計画 (令和4年3月25日)

3. 国際競技力の向上

第3期スポーツ基本計画の概要 (詳細版)

3. 国際競技力の向上

3 . 国際競技力の向上

■ 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

(※) 計画本文の記載から要約したもの

本文該当記載
P.38～40

【政策目標 (※)】

我が国のアスリートがひたむきに努力し、試合で躍動する姿は、国民の誇りや感動につながり、国に活力をもたらすものであることから、関係機関と連携し、中央競技団体（NF）が行う競技力向上を支援する。そうした取組を通じ、オリンピック・パラリンピック競技大会等を含む主要国際大会において、過去最高水準の金メダル獲得数、メダル獲得総数、入賞数及びメダル獲得競技数等の実現を図る。

① 中長期の強化戦略に基づく競技力向上を支援するシステムの確立

【現状】

- ・ N F が策定する中長期の強化戦略プランの実効化支援等について、今後も、必要な改善を加えながら取組を継続することが必要。
- ・ 選手強化活動や競技普及などにおいて、競技特性を踏まえつつ、オリ・パラの N F が連携した取組を更に進めることが必要。
- ・ 女性アスリートが健康に競技を継続できるよう、必要な支援や環境づくり、選手自身・関係者への意識啓発を更に進めることが必要。

【今後の施策目標】 (※)

- **N F の強化戦略プランの実効化を継続的に支援するほか、N F が自立して活動するための組織基盤の強化、強化責任者や指導者・スタッフ等の人材の育成・配置、女性アスリートの活躍のための環境整備等に取り組み、オリ・パラの N F の更なる連携を促進しながら、国際競技力向上の基盤を確立する。**

【主な具体的施策】



(独)日本スポーツ振興センター 提供

協働コンサルテーションの実施等、
PDCAサイクルの各段階で支援
強化責任者や指導者・スタッフ等の
育成・配置を支援



選手強化活動や競技大会の開催、
競技の普及、企業等との協働など
においてオリ・パラのNFが連携



©フォート・キシモト

女性アスリートの活躍のため、
相談体制の充実や、出産育児等への
支援体制を整備
女性エリートコーチを育成・配置

② アスリート育成パスウェイの構築

本文該当記載
P.40～41

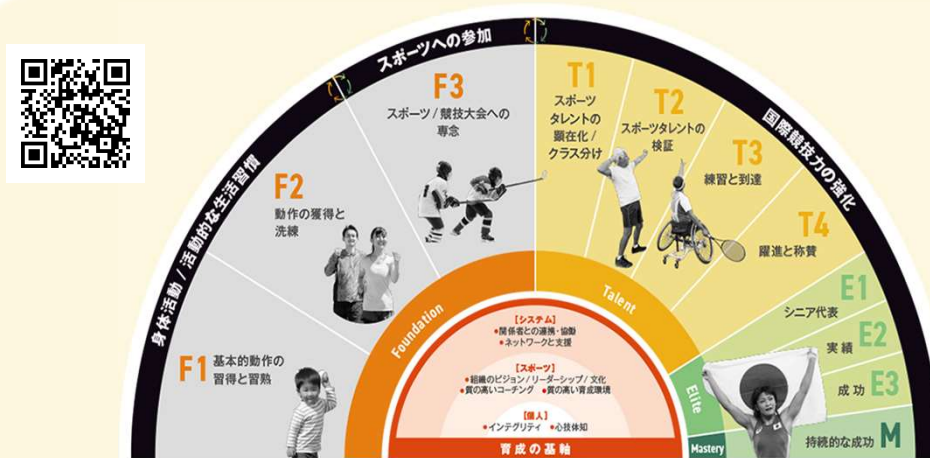
【現状】

- ・国、地方公共団体、競技団体等が行うアスリートの発掘・育成・強化に関する取組を有機的に連携させ、アスリートが競技開始からトップレベルに至るまでの道筋(アスリート育成パスウェイ)の整備を進めることが必要。
- ・アスリートの発掘については、オリ競技は、育成・強化につながるような発掘となるよう、改善を図ることが必要。他方、パラ競技においては、これまで実施してきたジャパン・ライジング・スタープロジェクト等について、継続的な改善を図りつつ、引き続き実施していくことが必要。

【今後の施策目標】

- NFにおけるアスリート育成パスウェイの構築等を通じた、中長期の戦略的な発展・育成・強化の取組により、世界で活躍するトップアスリートを継続的に輩出する。

【主な具体的施策】



「日本版 F T E M」等を活用し、各 NF が発掘から育成・強化までを一貫して行うアスリート育成パスウェイを構築・支援
(出典：JSCホームページ(日本版FTEMとは?))



(独)日本スポーツ振興センター 提供

アスリートの適性や競技特性を考慮した
将来有望なアスリートの発掘を行い、
育成・強化と一貫した取組となるよう支援

③ スポーツ医・科学、情報等による多面的で高度な支援の充実

本文該当記載
P.41～42

【現状】

- ・ハイパフォーマンススポーツセンター（H P S C）の機能強化やスポーツ医・科学、情報等による支援を実施してきたが、国際的にも革新的な技術を活用したデータ収集・分析が進む中で、アスリート支援の一層の高度化・充実が必要。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大によりN Fの選手強化活動が制約を受け、これに対応した経験も踏まえ、安定して継続的に選手強化活動ができる環境整備が必要。

【今後の施策目標】

- **スポーツ医・科学等の分野の研究を推進し、得られた知見の活用により、H P S Cや地域の関係機関におけるアスリートへのスポーツ医・科学、情報等によるサポートの一層の充実を図る。併せて、デジタル技術の活用等により、継続的に選手強化活動を行うことができる環境を整備する。**

【主な具体的施策】



(独)日本スポーツ振興センター 提供

情報収集・データ分析の充実、
競技用具等に関する研究の実施
など、中核的な拠点として
H P S Cの機能を強化



スキー（ジャンプ）強化拠点：
札幌市ジャンプ競技場
（大倉山、宮の森）

セーリング 強化拠点：
和歌山マリーナ・ディンギーマリーナ

N T C競技別強化拠点について、
機能強化ディレクターの配置拡充
等を通じ、スポーツ医・科学、
情報等によるサポートを充実



(独)日本スポーツ振興センター 提供

大学等とH P S Cとの連携による
先端的なスポーツ医・科学研究や、
若手研究者の育成を推進

④ 地域における競技力向上を支える体制の構築

本文該当記載
P.42～43

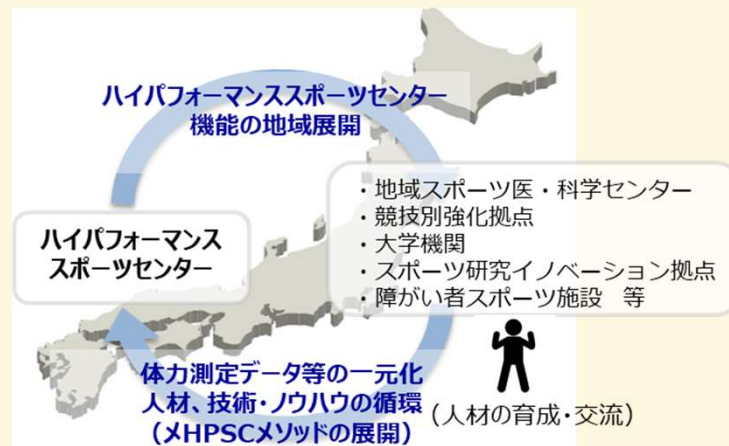
【現状】

- ・ ハイパフォーマンススポーツに関するHPSC等の知見を、全国のアスリートの発掘・育成・強化の実践において活用できるよう、地域に還元していくことが必要。
- ・ 世界で活躍するトップアスリートを継続的に輩出するためには、地域における競技力向上を支える体制の構築を進め、これをNFによるアスリートの育成・強化につなげる仕組みづくりが必要。

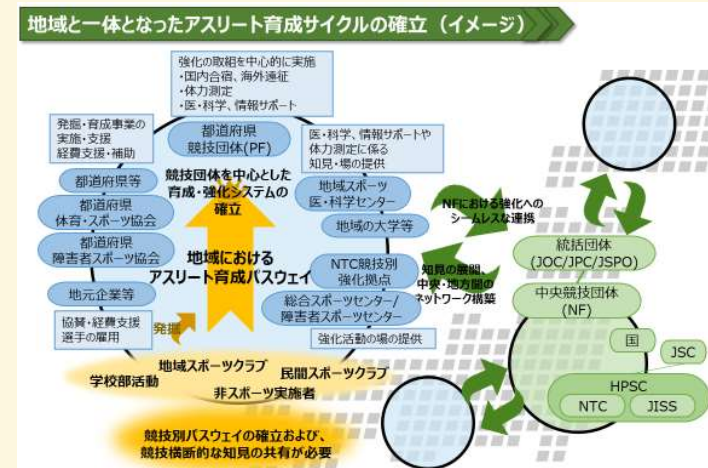
【今後の施策目標】

- **HPSC、NTC競技別強化拠点、地域のスポーツ医・科学センターや大学等の連携を更に強化し、HPSC等に蓄積された知見の地域・社会への還元を図るとともに、地域における競技力向上を支える体制を整備する。**

【主な具体的施策】



NTC競技別強化拠点や地域のスポーツ医・科学センター、大学等とのネットワークを構築し、地域におけるスポーツ医・科学、情報等によるサポートを担う人材を育成



地域のスポーツ団体、地方公共団体、企業、地域のスポーツ医・科学センター、大学等が連携した、地域における競技力向上を支える体制の構築

参考データ集

3. 国際競技力の向上

オリンピック・パラリンピック競技大会におけるメダル数及び入賞数の推移

- オリンピック競技大会において、夏の2020東京大会では金メダル数27個を含む総メダル数58個を獲得、冬の2022北京大会では総メダル数18個を獲得し、ともに過去最多を更新。
- パラリンピック競技大会において、夏の2020東京大会では、過去最多に匹敵する総メダル数51個を獲得。冬の2022北京大会では、過去2番目となる金メダル数4個を含む、総メダル数7個を獲得。

■夏季オリンピック競技大会

開催年	開催都市(国)	メダル獲得数				4位-8位	入賞数
		金	銀	銅	計		
2021	東京(日本)	27	14	17	58	78	136
2016	リオデジャネイロ(ブラジル)	12	8	21	41	47	88
2012	ロンドン(英国)	7	14	17	38	44	82
2008	北京(中国)	9	6	10	25	53	78
2004	アテネ(ギリシャ)	16	9	12	37	40	77
2000	シドニー(オーストラリア)	5	8	5	18	42	60
1964	東京(日本)	16	5	8	29	36	65

■冬季オリンピック競技大会

開催年	開催都市(国)	メダル獲得数				4位-8位	入賞数
		金	銀	銅	計		
2022	北京(中国)	3	6	9	18	25	43
2018	平昌(韓国)	4	5	4	13	30	43
2014	ソチ(ロシア)	1	4	3	8	20	28
2010	バンクーバー(カナダ)	0	3	2	5	22	27
2006	トリノ(イタリア)	1	0	0	1	20	21
2002	ソルトレイクシティ(米国)	0	1	1	2	25	27
1998	長野(日本)	5	1	4	10	23	33

※JOCホームページ等を参考に、スポーツ庁において作成。
※入賞は、東京1964大会は6位まで。その他は8位まで。

■夏季パラリンピック競技大会

開催年	開催都市(国)	メダル獲得数				4位-8位	入賞数
		金	銀	銅	計		
2021	東京(日本)	13	15	23	51	107	158
2016	リオデジャネイロ(ブラジル)	0	10	14	24	73	97
2012	ロンドン(イギリス)	5	5	6	16	70	86
2008	北京(中国)	5	14	8	27	79	106
2004	アテネ(ギリシャ)	17	15	20	52	72	124
2000	シドニー(オーストラリア)	13	17	11	41	67	108
1964	東京(日本)	1	5	4	10	—	—

■冬季パラリンピック競技大会

開催年	開催都市(国)	メダル獲得数				4位-8位	入賞数
		金	銀	銅	計		
2022	北京(中国)	4	1	2	7	34	41
2018	平昌(韓国)	3	4	3	10	13	23
2014	ソチ(ロシア)	3	1	2	6	20	26
2010	バンクーバー(カナダ)	3	3	5	11	18	29
2006	トリノ(イタリア)	2	5	2	9	16	25
2002	ソルトレイクシティ(米国)	0	0	3	3	32	35
1998	長野(日本)	12	16	13	41	68	109

※JPCホームページ等を参考に、スポーツ庁において作成。
※入賞は原則8位まで(順位付けされていない入賞者を含む)。東京1964大会は入賞者数の情報なし。

国際競技力向上のためのトレーニング拠点について

「ハイパフォーマンススポーツセンター(HPSC)」(東京都北区西が丘)

オリンピック競技とパラリンピック競技を一体的に捉え、スポーツ医・科学研究、スポーツ医・科学・情報サポート及び高度な科学的トレーニング環境を提供する我が国の国際競技力向上のための中核拠点



＜ナショナルトレーニングセンター(NTC)＞

トップレベル競技者が、集中的・継続的にトレーニングを行うための施設

【屋内トレーニングセンター・ウエスト】

トップレベルのアスリートが同一拠点で集中的・継続的にトレーニングを行う施設として2008年完成

【屋内トレーニングセンター・イースト】

オリンピック競技とパラリンピック競技の一体的な拠点として2019年完成

＜国立スポーツ科学センター(JISS)＞

トップレベル競技者に対して、スポーツ医・科学、情報等の側面から総合的支援を行うための施設

スポーツ医・科学
に関する研究

スポーツ医・科学
に基づいた支援

スポーツ診療・
コンディショニング

ネットワーク（連携協力）

NTC競技別強化拠点

中核拠点では競技トレーニングが困難な競技等については、既存のスポーツ施設を競技別のNTCに指定し、トレーニング拠点としての練習環境の整備や、中核拠点及び近隣施設とのネットワーク化によるスポーツ医・科学支援等を実施

冬季競技

海洋・水辺系競技

屋外系競技

パラリンピック競技

その他競技

高地トレーニング

NTC競技別強化拠点指定施設一覧

冬季競技

- 1 スキー (ジャンプ)**
札幌市ジャンプ競技場
(大倉山、宮の森)
- 2 バイアスロン**
西岡バイアスロン
競技場
- 3 アイスホッケー**
苫小牧白鳥アリーナ
- 4 スピードスケート**
帯広の森屋内スピードスケート場
「明治北海道十勝オーバル」
- 5 スキー (ノルディック複合)**
白馬ジャンプ競技場
白馬クロスカントリー競技場
- 6 ボブスレー・リュージュ**
長野市ボブスレー・
リュージュパーク
「スパイラル」
- 7 スピードスケート**
長野市オリンピック記念
アリーナ「エムウエーブ」
- 8 ショートトラック**
帝産アイススケート
トレーニングセンター
- 9 カーリング**
軽井沢風越公園カーリング
ホール「軽井沢アイスパーク」
- 10 フィギュアスケート**
関空アイスアリーナ
- 11 パラバイアスロン**
田山射撃場
- 12 パラアイスホッケー**
やまびこスケートの森
アイスアリーナ
- 13 スキー**
(フリースタイル/ハーフパイプ)
(スノーボード/ハーフパイプ)
青森スプリング・
スキーリゾート
- 14 スキー**
(フリースタイル/スロープスタイル・ビッグエア)
(スノーボード/スロープスタイル・ビッグエア)
東北クエスト
- 15 スキー**
(アルペン)
(スノーボード/
パラレル大回転)
パラ・アルペンスキー
菅平高原
パインピークススキー場

屋外系競技

- 1 サッカー**
堺市立サッカー・ナショナル
トレーニングセンター
- 2 ホッケー**
川崎重工ホッケー
スタジアム
- 3 馬術**
御殿場市馬術・
スポーツセンター
- 4 クレー射撃**
神奈川県立
伊勢原射撃場
- 5 7人制ラグビー**
熊谷スポーツ
文化公園
- 6 ゴルフ**
フェニックス・
シーガイア・リゾート
- 7 近代五種**
日本体育大学
世田谷キャンパス
- 8 ビーバレーボール**
川崎マリエンビー
チバレーコート
- 9 自転車競技**
日本サイクル
スポーツセンター
- 10 トライアスロン**
フェニックス・シーガイア
・リゾート及び周辺エリア
- 11 パラ陸上競技**
田辺スポーツパーク
(南紀田辺スポーツセンター)
- 12 車いすテニス**
いいづかスポーツ・
リゾート
(旧筑豊ハイツ)
- 13 パラ5人制サッカー**
MARUI
ブラサカ! パーク

海洋・水辺系競技

- 1 セーリング**
和歌山マリーナ・
ディンギーマリーナ
- 2 ボート**
戸田公園漕艇場及び
国立戸田艇庫
- 3 カヌー (スラローム)**
富山市スポーツ・
カヌーセンター
- 4 カヌー (スプリント)**
パラ・カヌー
木場漕カヌー競技場

屋内系競技

- 1 車いすバスケットボール**
千葉ポートアリーナ
- 2 ボッチャ**
大阪市舞洲障がい者
スポーツセンター
- 3 パワーリフティング**
京都府立心身障害者
福祉センター体育館
- 4 シットイングバレーボール**
姫路市立書写養護学校屋内
運動場
- 5 ゴールボール**
所沢市民体育館
- 6 車いすフェンシング**
元京都市山王小学校
- 7 テコンドー**
羽島市防災ステーション

高地トレーニング

- 1 高地トレーニング**
飛騨御嶽高原高地
トレーニングエリア
- 2 高地トレーニング**
蔵王坊平アスリート
ヴィレッジ

